

クミミ クルミ

NEWクレラップ TVCM絶賛放映中!!
「クルミちゃんどこへ行く」編

ボウルを持ってどこに行くんだろう?

クルミちゃん、子犬のミルクを運んでいたんだね!

そういふことか!!

たくさん飲んでね!

大切にボウルを運ぶクルミちゃん。

クルミちゃんはおばあちゃんに、ボウルを差し出します。

いらっしやい!

ミルクもってきたよ

NEWクレラップ♪

クルッと切れる! ピタッとくっつく!

CM撮影の様子
 撮影中はとても天気がよく、
 楽しく撮影できました!

NEWクレラップ
<http://kurelife.jp> 検索

当社サイト「キッチンさんのクレライフ」では、電子レンジを使った簡単レシピや、おいしくムダなく食品を保存するアイデアなど、今日から使えて、キッチンライフを豊かにする情報をたくさん紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

KUREHA

クレハ レポート

第101期 中間報告書
 (2013年4月1日～2013年9月30日)



証券コード：4023

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

トップメッセージ

社会的に価値ある存在として あり続けるために



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第101期中間期
(2013年4月1日から2013年9月30日まで)の
「クレハレポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、
今後とも一層のご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。

2013年12月

代表取締役社長 **小林 豊**

▶ 当中間期の概況について

わが国経済は、金融緩和等の経済政策効果もあり景気は回復過程にあるものの、中国経済の下振れリスク、欧州でのソブリン危機の再燃リスク、新興国経済の低迷もあり、当社グループを取り巻く経営環境は、依然先行き不透明なものとなっております。

当中間期の連結売上高は前年同期比6.3%増の677億23百万円、営業利益は前年同期比1.5%増の48億50百万円、経常利益は前年同期比41.6%増の52億58百万円となりました。当中間期純利益につきましては、前年同期比57.7%増の35億4百万円となりました。

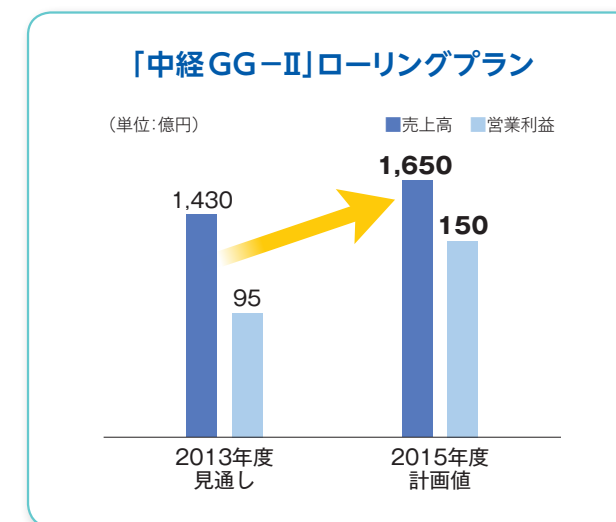
当期中間配当金は、当初の予定通り1株につき5円とさせていただきます。

▶ 中期経営計画のローリングプランを策定

2012年1月に発表した2012年度から2015年度までの「中期経営計画GROW GLOBALLY-II」(略称「中計GG-II」)について、ローリングプランの策定を行いましたので、その概要についてご報告いたします。

「中計GG-II」では、「競争優位にある既存事業の強みを更に伸ばしながら、新規事業を育成・拡大すること」、「増産及び新規投資によるグローバルな成長と投

資回収を図ること」を経営目標に掲げております。「中計GG-II」がスタートした2012年度以降、太陽光発電市場の低迷や大型リチウムイオン二次電池市場の立ち上がりの遅れなど、事業環境が大幅に変化しております。中期的な経営の方向性に変更はありませんが、今後の事業環境の変化に柔軟かつ機動的な対応を図り、持続的な事業拡大を目指して、「中計GG-II」を見直したローリングプランを策定し、それに基づく事業運営を開始しました。事業環境の変化や各施策の進捗を踏まえ、最終年度となる2015年度の定量計画値については再設定を行いました。



トップメッセージ

▶「改革推進プロジェクト」について

「中計GG-II」ローリングプランの達成およびクレハが将来に向かって成長路線を堅持しグローバルに拡大していくためには「国際競争に打ち勝つことのできる事業体質を構築するために全社的にコスト競争力を向上させること」、「海外で活躍し得る人財を育成、確保すること」が重要な経営課題であるとし、これらの課題解決に取り組む横断組織「改革推進プロジェクト」を4月に発足させ、8カ月が経ちました。このプロジェクトは、既存の枠組みや発想にとらわれず、グローバル市場で戦うクレハ製品の価格競争力の強化を主導し、グローバル市場に向かって果敢に挑戦する人財を支援育成する新しい制度の構築を目指しています。



コスト削減については販売、生産、研究開発、エンジニアリング、間接の各部門が一丸となって果敢に取り組み、[クロスファンクショナル[※]]が根付いてきています。このプロジェクトを通じ、ひとりひとりが今までの業務の習慣に、「なぜ」の目をもって見直し、考え、行動を起こすことで、当社の企業としての総合力向上にもつなげてまいります。

※部門ごとに存在する知識や手法などを横断的に流通させ、組織全体の機能を強化すること

▶事業活動を通して社会での存在価値を

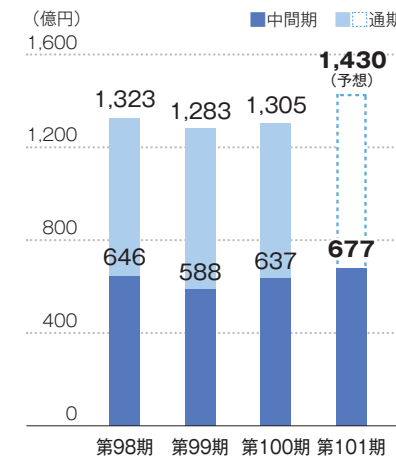
企業は利益を生まなければ、雇用も守れず、ステークホルダーや社会に対しても貢献できません。しかし、継続して利益を出し続けることは社会的責任の一面にすぎません。企業の価値は「社会的存在」であり、「人類の幸せに貢献していくこと」であるととらえています。

当社グループが、事業活動を通じて、「クレハ独自の技術を生かしたモノづくり」、「地域社会への貢献」、「社会の模範となる人財の輩出」に積極的に取り組み、社会に必要とされる製品やサービスを創り、提供し続けることによって、社会になくてはならない真のグローバル企業であり続けるよう、情熱をもって経営に尽力してまいります。

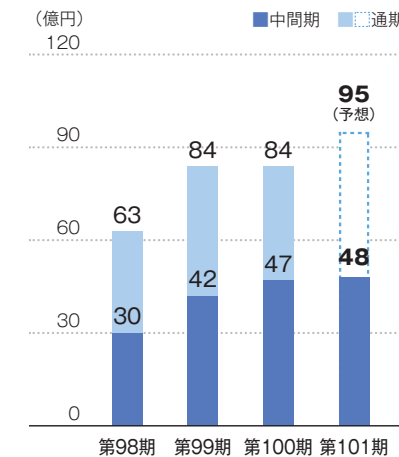
連結財務ハイライト

科目		第98期		第99期		第100期		第101期	
		中間	通期(期末)	中間	通期(期末)	中間	通期(期末)	中間	通期予想
売上高	(億円)	646	1,323	588	1,283	637	1,305	677	1,430
営業利益	(億円)	30	63	42	84	47	84	48	95
経常利益	(億円)	25	56	39	78	37	65	52	95
当期(中間期)純利益	(億円)	12	6	△9	14	22	32	35	58
1株当たり当期純利益	(円)	—	4.0	—	8.5	—	18.7	20.4	33.8
総資産	(億円)	1,775	1,817	1,782	1,862	1,884	2,052	2,128	—
純資産	(億円)	915	895	877	885	902	962	1,027	—
1株当たり純資産額	(円)	531.8	517.5	506.3	510.4	512.5	546.7	585.5	—
自己資本比率	(%)	51.4	48.9	48.8	47.0	46.7	45.7	47.3	—
自己資本利益率(ROE)	(%)	—	0.7	—	1.7	—	3.5	3.6	—

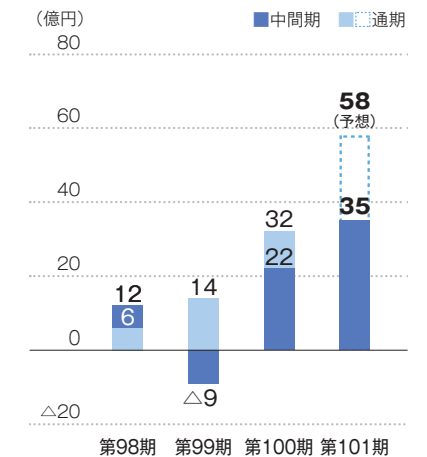
●売上高



●営業利益



●当期(中間期)純利益



セグメント別営業概況

機能製品事業

売上高 **159.6** 億円
(前年同期比114.1%)



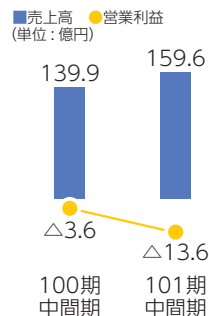
PPS樹脂使用例(自動車用途)



特殊炭素材料(リチウムイオン電池用負極材)

PPS樹脂は自動車用途向けを中心に需要が拡大し、ふっ化ビニリデン樹脂はリチウムイオン二次電池用バインダー用途・工業用途ともに需要が回復しました。PGA(ポリグリコール酸)樹脂の米国工場での低稼働の影響もあり、機能樹脂分野は売上げが増加しましたが、営業損失となりました。

車載用リチウムイオン二次電池用負極材用途で需要は拡大しましたが、太陽電池向けシリコン製造装置用断熱材用途で需要低迷が続き、炭素製品分野の売上げは微増にとどまり営業損失は増加しました。



樹脂製品事業

売上高 **205.2** 億円
(前年同期比101.5%)



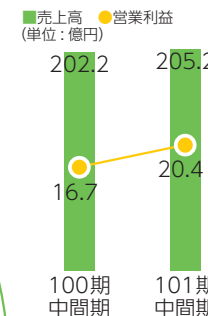
家庭用ラップ「NEWクレラップ」



塩化ビニリデン・フィルム使用例(食品用途)

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」はともに売上げが増加し、コンシューマー・グッズ分野は増収増益となりました。

塩化ビニリデン・フィルム、多層ボトル等で国内売上げは減少しましたが、海外売上げはアジアで増加し、円安効果もあり、業務用食品包装材分野は増収増益となりました。



コンシューマー・グッズ分野

業務用食品包装材分野



機能樹脂分野

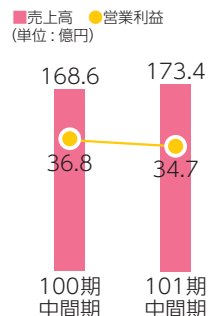
炭素製品分野

医薬・農薬分野

工業薬品分野

前年同期に計上した「クレメジン」の特許権侵害訴訟の和解金収入による売上げが減少しましたが、慢性腎不全用剤「クレメジン」、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」の売上げが増加し、医薬・農薬分野は増収増益となりました。

有機薬品類の売上げが増加しましたが原料高騰の影響により、工業薬品分野は増収減益となりました。



慢性腎不全用剤「クレメジン」



農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」

化学製品事業

売上高 **173.4** 億円
(前年同期比102.9%)

建設関連事業とその他関連事業

売上高 **138.9** 億円
(前年同期比109.9%)

環境事業(クレハ環境)



建設事業(介護関連施設)



震災復旧工事などの公共工事が増加し、プラント建設が堅調に推移しましたが、利益率の低下により、建設関連事業は増収減益となりました。

運送事業は、売上げは前年同期並みでしたが経費削減に努め増益となりました。環境事業は、産業廃棄物処理や環境関連エンジニアリング業務での大型工事の増加により、売上げが増加し、営業損失から営業利益となりました。これらによりその他関連事業は売上げが増加し、営業損失から営業利益となりました。

建設関連

その他関連

TOPICS トピックス

第5回「ものづくり日本大賞」 経済産業大臣賞を受賞しました。

第5回「ものづくり日本大賞」において、当社の「環境負荷低減を実現する高機能型生分解性樹脂ポリグリコール酸(PGA)の開発」が経済産業大臣賞(製品・技術開発部門)を受賞しました。

「ものづくり日本大賞」は経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、製造・生産現場において、伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を顕彰するもので、2005年より隔年開催されています。

今回の受賞には、当社がPGA樹脂の工業化に向けて長期にわたり開発に力を注いできたことへの評価と今後のさらなるPGA樹脂の用途開発に対する期待が込められています。当社は着実に市場開拓を進め、社会に貢献できる事業へと育てていきます。



表彰式(左から2人目)茂木経済産業大臣

主な受賞ポイント

- 溶媒の工夫などの独自合成技術により、新素材の量産化に長時間かけて成功したこと。
- 強度と生分解性という相反する特性を生かし、シェールガス掘削への活用が始まっていること。

PGAって?

PGA樹脂は生分解性、高強度、高ガスバリア性をあわせ持つポリエステル樹脂です。その歴史は古く、最初につくられたのは1930年代です。しかし、大量生産するのは非常に難しく、外科用縫合糸用途として小規模で生産されるに過ぎませんでした。当社は1995年、世界で初めてPGA樹脂の工業的な生産に成功。2012年からはクレハ・ピージーエーLLC(米国)において本格的に生産を開始しました。PGA樹脂が持つユニークな特性からシェールガスの掘削装置の機械部品材料として採用されたほか、医療用途での活用が始まっています。



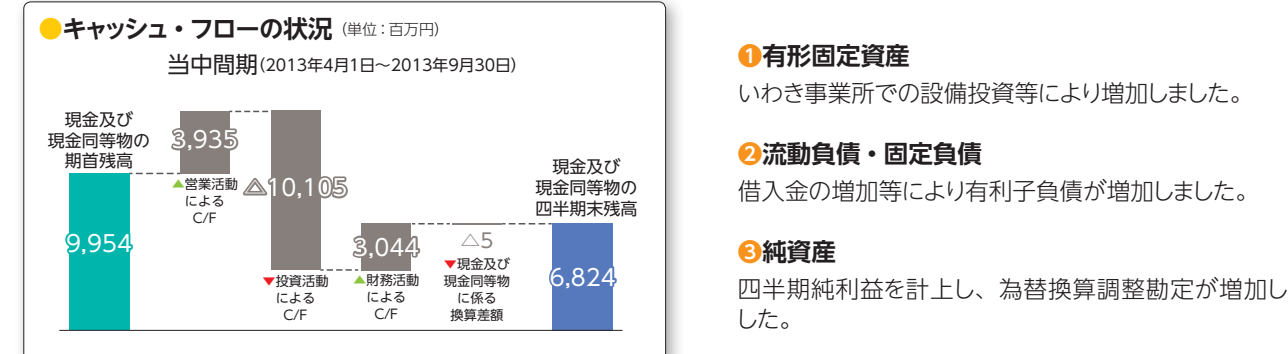
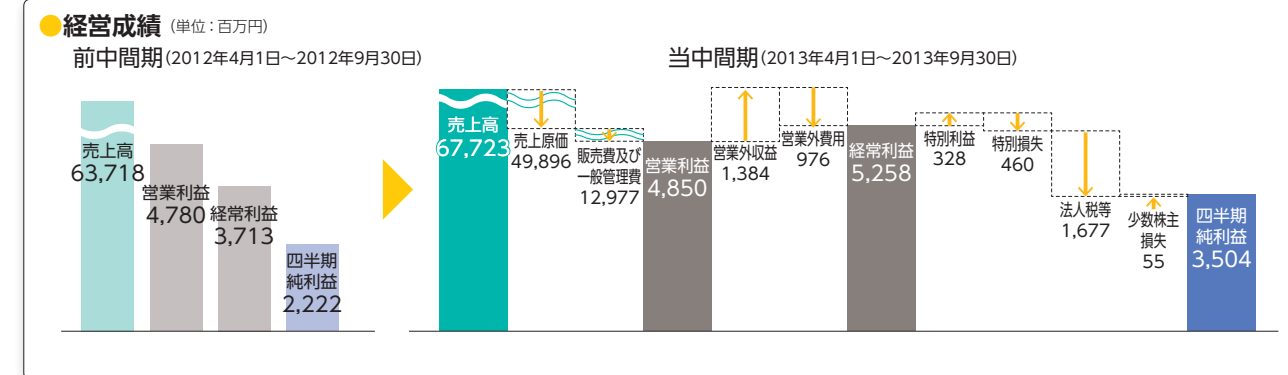
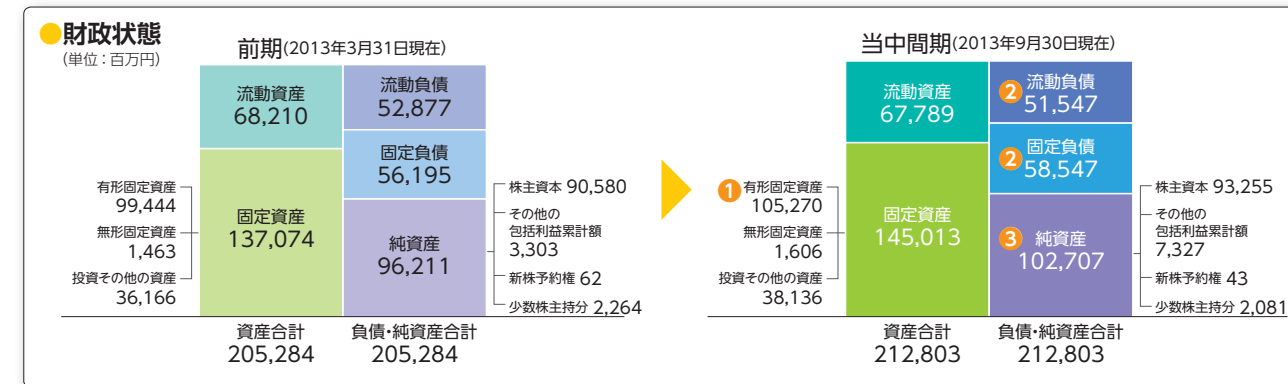
クレハ・ピージーエーLLC
米国(ウエストバージニア州)

PGA
ペレット

PGA
成形品



連結財務諸表(要旨)



- 1 有形固定資産**
いわき事業所での設備投資等により増加しました。
- 2 流動負債・固定負債**
借入金の増加等により有利子負債が増加しました。
- 3 純資産**
四半期純利益を計上し、為替換算調整勘定が増加しました。

会社概要／株式の状況

会社の概要 (2013年9月30日現在)

商号 株式会社クレハ
 英文社名 KUREHA CORPORATION
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 12,460百万円
 グループ従業員数 4,101名(単独:1,714名)
 連結対象会社数 39社(連結子会社37社、持分法適用会社2社)
 ホームページ <http://www.kureha.co.jp/>

役員 (2013年9月30日現在)

代表取締役社長 小林 豊
 代表取締役副社長 宗像 敬吉
 取締役専務執行役員 佐川 正
 取締役常務執行役員 松尾 修介
 社外取締役 竹田 恒治
 社外取締役 馬谷 成人
 常勤監査役 清輔 洋一
 常勤社外監査役 山口 治紀
 常勤監査役 佐藤 光男
 社外監査役 北村 大
 常務執行役員 紫垣 由城
 常務執行役員 福沢 直樹
 常務執行役員 山本 孝士
 執行役員 野田 義夫
 執行役員 吉田 徹
 執行役員 坂部 宏
 執行役員 齊藤 太規
 執行役員 塩尻 泰規
 執行役員 田中 宏幸
 執行役員 佐藤 通浩
 執行役員 山田 文彦

株式の状況 (2013年9月30日現在)

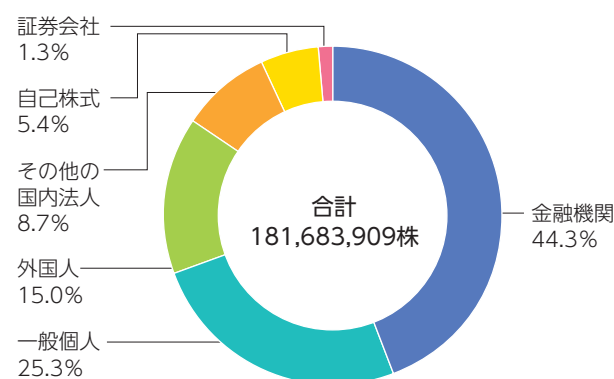
発行可能株式総数 600,000,000株
 発行済株式総数 181,683,909株
 株主数 17,438名

大株主の状況 (2013年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	13,746	8.00
東京海上日動火災保険株式会社	10,080	5.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,878	5.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,735	4.50
第一三共株式会社	5,830	3.39
野村信託銀行株式会社(投信口)	4,345	2.53
株式会社みずほ銀行	4,000	2.33
みずほ信託銀行株式会社	2,664	1.55
ジェーピー・モルガン・チェース・バンク385166(イギリス)	2,469	1.44
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	2,311	1.35

注) 当社は自己株式9,885千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比 (2013年9月30日現在)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。
 (http://www.kureha.co.jp/ir/koukoku.htm)
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1-2-1
 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
<ul style="list-style-type: none"> ● 氏名、住所などのご変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受け取り方法、振込先のご変更 	お取引の証券会社にお問い合わせください。	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ ● 未払い配当金に関するご照会 	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。	
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から証券会社口座への振替え手続き 		

※ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル:0120-288-324 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
 ご来店窓口 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
 (未払い配当金に関するご照会については、みずほ銀行全国本支店でも取扱っています。)

ホームページのご案内

<http://www.kureha.co.jp/>

当社Webサイトに「個人投資家のみなさまへ」を開発しております。
 身近にあるクレハ製品や業績の概況についてご説明しておりますので、ぜひご覧ください。

